

令和8年度 年間授業計画

教 科：商業 科 目：簿記 単位数：4

対象学年：第3学年

使用教材	教科書：	高校簿記(実教出版)
	補助教材：	—

教科（商業）の目標

【知識及び技能】	商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目（簿記）の目標

【知識及び技能】	簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当時数
単元	簿記の基礎	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	指導事項	知識・技能				
簿記の意味と目的を理解し、簿記を学ぶ必要性について理解できるようにする。		企業の簿記、簿記の要素、取引と勘定、仕訳と転記	簿記の基礎的な知識を身に付けることができる。				
思考力、判断力、表現力等	教材	教材	思考・判断・表現				
取引を記録すること、企業活動の展開と関連付けて見いだすことができるようにする。		教科書	簿記を学ぶことの意味と必要性を考えることができる。	○	○	○	14
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
簿記の環境について、自ら学び、主体的に取り組むことができるようにする。		予習、復習	企業の簿記の意義と役割を知り、簿記の学習に興味を示し、学習しようとしている。				
単元	簿記の基礎	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	指導事項	知識・技能				
簿記一巡の手続きの基本的な流れについて理解できるようにする。		仕訳帳と総勘定元帳、試算表、決算	簿記の基礎的な知識に関する技術を身に付けることができる。				
思考力、判断力、表現力等	教材	教材	思考・判断・表現				
決算の意義について、企業活動の展開と関連付けて見いだすことができるようにする。		教科書	決算の意義について、企業活動の展開と関連付けて見いだすことができる。	○	○	○	15
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
正確な計算、丁寧な記入により、財務諸表を丁寧に作成することができるようにする。		予習、復習	適正な取引の記録の効率的な活用を、主体的に取り組むことができる。				
1 学 期							
定期考査（中間考査）/返却と解説							
単元	取引の記録と決算Ⅰ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				2
知識及び技能	指導事項	指導事項	知識・技能				
取引の記録について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。		現金・預金、商品売買・掛け取引の記録	取引の記録について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。				
思考力、判断力、表現力等	教材	教材	思考・判断・表現				
取引の記録法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応することができるようにする。		教科書	取引の記録法の妥当性と実務における課題に対応することができる。	○	○	○	20
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
取引の記録について自ら学び主体的に取り組むことができるようにする。		予習、復習	取引の記録について自ら学び、適正な会計帳簿の作成に主体的に取り組むことができる。				
単元	取引の記録と決算Ⅱ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	指導事項	知識・技能				
決算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。		固定資産、決算（その1）	決算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。				
思考力、判断力、表現力等	教材	教材	思考・判断・表現				
決算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応することができるようにする。		教科書	決算整理を含んだ決算について、一定の方法に従って判断処理することができる。	○	○	○	10
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
適正な会計帳簿の作成に、主体的に取り組むことができるようにする。		予習、復習	基本的な決算整理を加えた決算に関心を高め、その決算処理の学習を的確に主体的に行おうとしている。				
定期考査（期末考査）/返却と解説							
				○	○	○	2

令和8年度 年間授業計画 科目（簿記）

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時間
単元	取引の記録と決算Ⅱ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	指導事項	知識・技能				
取引の記録について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。		手形取引の記録、その他の債権債務の記録、販売費および一般管理費の記録	取引の記録について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。				
思考力、判断力、表現力等	教材	教材	思考・判断・表現				
取引の記録法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応することができるようにする。		教科書	取引の記録法の妥当性と実務における課題に対応することができる。	○	○	○	14
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
取引の記録について自ら学び、適正な会計帳簿の作成に主体的に取り組むことができるようにする。		学習、復習	取引の記録について自ら学び、適正な会計帳簿の作成に主体的に取り組むことができる。				
単元	取引の記録と決算Ⅱ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	指導事項	知識・技能				
記録、決算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。		資本金の記録、決算（その2）	記録、決算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。				
思考力、判断力、表現力等	教材	教材	思考・判断・表現				
決算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応することができるようにする。		教科書	進んだ決算整理を含んだ決算について、一定の方法に従って判断処理することができる。	○	○	○	14
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
決算整理と財務諸表の作成に、主体的に取り組むことができるようにする。		学習、復習	作成した会計帳簿や貸借対照表と損益計算書からビジネスの諸活動を把握しようとしている。				
定期考査（中間考査）/返却と解説				○	○	○	2
単元	帳簿・伝票と記録の効率化	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	指導事項	知識・技能				
記録の効率化について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。		帳簿、仕訳伝票と3伝票制、会計ソフトウェア	記録の効率化について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。				
思考力、判断力、表現力等	教材	教材	思考・判断・表現				
記録の効率化の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応することができるようにする。		教科書	記録の効率化の方法の妥当性と実務における課題に対応することができる。	○	○	○	14
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
伝票の利用と会計ソフトウェアの効率的な活用に、主体的に取り組むことができるようにする。		学習、復習	伝票の利用と会計ソフトウェアの効率的な活用に、主体的に取り組むことができる。				
単元	取引の記録と決算Ⅲ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	指導事項	知識・技能				
記録、決算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。		有価証券とその他の手形取引の記録、決算（その3）	記録、決算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。				
思考力、判断力、表現力等	教材	教材	思考・判断・表現				
決算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応することができるようにする。		教科書	進んだ決算整理を含んだ決算について、一定の方法に従って判断処理することができる。	○	○	○	17
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
決算整理と財務諸表の作成に、主体的に取り組むことができるようにする。		学習、復習	作成した会計帳簿や貸借対照表と損益計算書からビジネスの諸活動を把握しようとしている。				
定期考査（期末考査）/返却と解説				○	○	○	2

2
学
期

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
単元	本支店の会計	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能		指導事項	知識・技能				
本支店間の取引などの、基本的な内容を理解して、基礎的な技術を身に付けるようにする。		支店の取引、本支店の財務諸表の合併	本支店間の取引、支店相互間の取引などに関する基本的な内容を理解して、基礎的な技術を身に付けることができる。				
思考力、判断力、表現力等		教材	思考・判断・表現				
本支店間の記帳の問題の解決を目指して、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようにする。		教科書	本支店間の記帳の問題の解決を目指して、一定の方法で判断処理することができる。	○	○	○	12
学びに向かう力、人間性等		一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
本支店合併の財務諸表の手続きとその作成法に進んで取り組むことができるようにする。		学習、復習	本支店の貸借対照表と損益計算書の合併の手続きとその作成法に関心を持ち、進んで取り組み、ビジネスの諸活動を理解しようとしている。				
単元		指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能		指導事項	知識・技能				
0		0	0				
思考力、判断力、表現力等		教材	思考・判断・表現				
0		0	0				
学びに向かう力、人間性等		一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
0		0	0				
単元		指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能		指導事項	知識・技能				
0		0	0				
思考力、判断力、表現力等		教材	思考・判断・表現				
0		0	0				
学びに向かう力、人間性等		一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
0		0	0				
単元		指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能		指導事項	知識・技能				
0		0	0				
思考力、判断力、表現力等		教材	思考・判断・表現				
0		0	0				
学びに向かう力、人間性等		一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
0		0	0				
定期考査（期末考査）/返却と解説							2
合計							140

3

学

期